

# 49年度の公害発生状況

## 多い水質汚濁・悪臭

公害環境課まとめ

### 意識の高まりで件数増

#### 四十五年から上昇傾向

発生件数  
八十二件

花子・四十九年度の公害発生件数と稲生石灰粉塵降下測定の結果が出たそうね。

太郎・市の公害環境課がまとめたもので第一表と第二表なんだがまず公害発生件数を見てみると、八十二件ですべてが解決されているね。

ポチ・処理、解決にあたってはどんなに？

太郎・苦情をうけても、住民と公害原因の事業所などを当事者だけで話し合わせず、公害環境課が中に入って合意に達するまで話し合いをし、三者の間で防止協定や覚書を取りかわして解決しているね。

多い水質汚濁  
と悪臭

花子・公害原因の処置は？

太郎・水洗設備のつけかえをしたわけだ。これにはもちろん下水

太郎・悪臭をはなつものは埋め、水質汚濁などは浄化そうを取りつけ、たれ流しなどは行政指導を徹底的にやっているとのことだ。

ポチ・四十九年度に発生した公害はどんなものがあるの？

光公害

水銀灯も原因

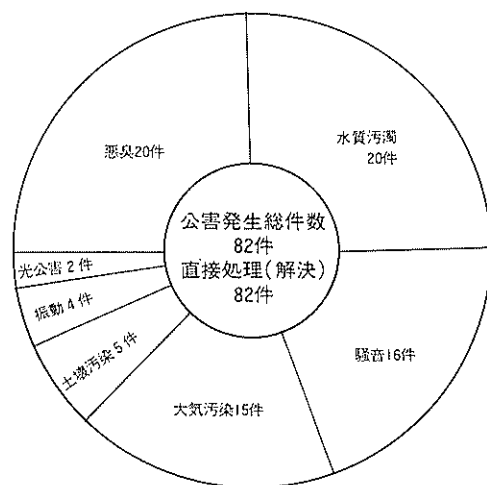
花子・それぞれの公害で特徴的なことはないの？

太郎・水質汚濁の原因ではやはり事業所から出ているものが多いね。その他畜産の糞尿などもあるけど、水洗便所もある。井戸水の中に汚物がまじりこんだという苦情もあったよ。

ポチ・それはどうしたの？

太郎・水洗設備のつけかえをしたわけだ。これにはもちろん下水

第1表  
公害発生総件数  
昭和49年度 4. 1~50. 3. 31



太郎・四十二年からみると四十二年は六件で、六件とも直接処理(解決)している。四十三年の発生件数は十四件、これもすべて直接処理されている。四十四年が四十八件、直接処理四十八件。四十五年は百二十三件で直接処理百十七件。四十六年、九十五件で直接処理九十四件。四十七年は百二十一件で直接処理百二十一件。四十八年度は七十九件、直接処理七十七件となっている。

いすれの年をみてみても、大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音が多いね。

花子・四十五年頃から発生件数が増えているけど、どういうことかしら。

太郎・道端の水銀灯で稲が結実しない、というものだ。稲作への影響で土壌汚染の問題もあるが、これも工場の排水によるもの多かつたよ。

発生  
ピークは四十七年

ポチ・四十九年以前の公害発生件数の推移はどうなんだろう。

### 意識の高まりの中で

太郎・やはり全国的に公害問題に対する意識が高まったということかな。公害環境課でも力を入れたし。

ポチ・反面、「蛇が電柱にまきついている。公害だから来てくれ」という「公害」の出現も聞いたことがあるよ。

花子・稲生の石灰粉塵降下の測定はどんなにしてやったの？

太郎・この測定は県の衛生研究センターに委託している。数字は一カ月間に一kmの範囲に降下した石灰粉塵の量(単位はt)を示している。

花子・かつての石灰の粉塵はたいへんなものだったでしょうね。

太郎・昭和四十四年頃には、一kmにつき、一カ月間の石灰粉塵降下量は二百五十tぐらいだったそうだよ。それが公害追放の住民運動がうまれ、四十五年には石灰業者と住民・市の間で公害防止協定が結ばれた。そして四十九年には

粉塵降下量が十五t二十tぐらいになっているわけだね。

この協定には、粉塵機械の完全運転や諸設備の充実をはかるための企業の協業化などが盛りこまれた。当時、こうした協定は県下でもめずらしく本格的な公害追放ということで注目された。

オキシダント  
亜硫酸ガスの測定

ポチ・先頃、オキシダントの自動測定器が設置されたそうだね。

一、小学校、保育園給食でパン添加物に使用されているリジンを中止すること。また、主食持参を認めること。

二、南園市へ普通高校一校を増設すること。

三、生徒、児童の一学級定員を三十名とし併せて教員を増員すること。

四、教育内容を再検討し、おくれを出さない教育を進めるために教科書再検討をすすめること。

五、学校、保育施設の格差をなくすること。

六、障害児保育について、当面次のことに対処すること。

○ 障害児に加配保母を配置する。  
○ 障害児を指導するため研修時

太郎・市役所前の陸橋の下に備えられている。それで記録されたこれまでの最高は、夕方の車が多い時の〇・一一二PPM。注意報が出されるのは〇・一五PPMからというね。そのほか、亜硫酸ガスと粉塵の自動記録計が稲生に設置されている。

花子・公害を出さない、出させない、ということもこれからも気をつけてゆきたいわね。

ポチ・緑と水と光を守り育てる都市。からは公害を追放したいね。

間を確保する。  
○ 障害児相談室をつくり、研究員、医師、看護婦をおく。

七、学童保育を早期に実施されたい。当面、夏期学童保育所を要求のある所へ作り補助金も予算化すること。

八、乳児保育所を充実すること。

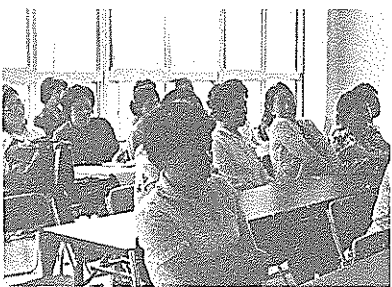
九、バック使用、及び過じよう包装をやめさせよう。そのため南園市に消費者センターを作ること。

十、住民の要求を無視する空港拡張は絶対反対する。

十一、母親大会への補助金を増額すること。

### 第十九回南園市母親大会

#### リジン中止など 市長に申し入れ



第十九回南園市母親大会がさる六月二十二日、大條公民館で開かれた。

会には七十人のお母さんたちが参加。午前中は「くらしの問題」「教育」の問題別の分科会、午後には高知短大の弥永万三郎氏による講演「最近の世界の動き」のあと全体会が行なわれ、学校給食や保育問題などで次の十一項目を杉本市長に申し入れた。

稲生石灰粉塵降下測定表 t / km<sup>2</sup> (昭和49年度)

地区	月	S49												合計	平均値
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
北地	S49	18.08	8.42	14.82	27.94	16.24	18.54	16.17	12.65	13.12	14.01	12.50	12.90	185.39	15.44
	S50	26.24	14.32	21.11	42.26	24.41	22.21	16.35	14.54	12.51	13.95	13.29	12.15	233.34	19.44
衣笠	S49	5.84	14.52	10.41	10.01	10.41	10.38	5.35	3.41	2.46	2.38	2.15	2.40	79.72	6.64
	S50	5.37	5.06	4.35	4.97	9.83	3.05	2.37	2.17	1.54	2.01	2.02	2.00	44.74	3.72

第2表

きょうの話題・あすの話題……49年度の公害発生状況から